

# はじめに



音更町長  
山口 武敏

**私**たちの音更町は、先人のたくましい開拓精神とたゆまぬ努力により、今日の本町発展の礎が築かれ、昨年、開町100年という大きな節目を町民の皆さんと共に祝うことができました。

本町は、これまで3期にわたる総合計画を策定し、生活基盤の整備、産業の振興、福祉の充実など計画的なまちづくりを進めてきました。

しかし、近年、少子・高齢社会や情報社会の急速な進展、地球環境問題、さらには、地方分権の推進などにより、社会経済環境は大きな転換期を迎えております。

こうした新しい時代の潮流を的確にとらえ、21世紀初頭におけるまちづくりの指針として、平成13（2001）年から22

（2010）年の10年間を計画期間とする第4期音更町総合計画を策定いたしました。この計画は、「人と大地がひびきあい躍進する快適都市おとふけ」の創造を目指し、行政と住民が相互の信頼感に支えられたパートナーシップに基づいたまちづくりを推進してまいりたいと考えています。

最後に、この計画策定にあたり、慎重なご審議を賜りました総合計画審議会委員、町議会議員をはじめ、貴重なご意見、ご提言をいただいた町民の皆様にご心からお礼申し上げますとともに、今後とも本町発展のため一層ご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

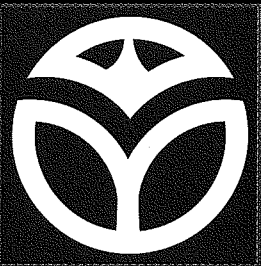
平成13年3月

わたくしたちは、日高・大雪連峰をはるかにのぞみ、雄大な十勝川の流れにつくられた、十勝平野の中央部に位置する、美しい自然と環境に恵まれた誇りある音更町民です。

わたくしたちは、先人の偉業をうけつぎ、今日のよろこびと、あすのしあわせを約束できる豊かで平和な町づくりのためにこの憲章を定めます。

**町民憲章**  
(昭和49年10月3日制定)

- 1 教養を高め、からだをきたえ、豊かな心をつくります。
- 1 たがいにいたわり、話しあい、明るい家庭をつくります。
- 1 きまりを守り、力をあわせ、住みよいまちをつくります。
- 1 自然を愛し、環境をととのえ、美しいまちをつくります。
- 1 文化を高め、産業を伸ばし、希望のあるまちをつくります。



**町章**

音更の頭文字「音」をデザインして若葉を表現し、未来に向かって力強く躍進する町勢を象徴しています。

(昭和45年4月10日制定)



**町木 [白樺]**

樹皮の白さが年間を通して美しく、春の新緑、秋の黄葉は一層強いコントラストを描き出し、広く町民に親しまれています。



**町花 [スズラン]**

町のシンボルとして白く可憐な姿と、強い芳香で北国のロマンをかきたてています。